

可塑的な神経回路形成を担う細胞分子メカニズム

日付：2023年4月14日（金）

時間：15:30 - 17:00

場所：創薬科学研究館 2F 講義室

山本 亘彦 博士

深圳湾实验室・神经疾病研究所・教授

(Shenzhen Bay Laboratory, Institute of Neurological and Psychiatric Disorders, China)

神経回路の基本構造は脳の発生期に自律的に形成されるのに対して、細部は神経細胞の電氣的活動によって可塑的に形成される。私たちは、これまで神経活動が軸索分岐形成に及ぼす作用やそれを担う細胞分子機構を明らかにしてきた。次の興味深い問題は、神経活動が分子シグナルに変換される仕組みである。本セミナーでは、神経回路形成に関する研究の現状を踏まえて、プロモーター活性のライブイメージングや転写調節因子の1分子イメージング法によって得られた最近の知見を紹介する。また、これらの研究を通して、神経科学における問題の捉え方や研究戦略についても議論したい。

Host: 小坂田文隆 (ext. 6814)